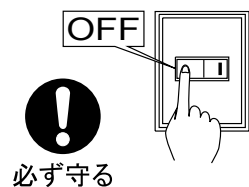


保守とお手入れ 常に明るくご使用いただくために定期的にお手入れをしてください。

■お手入れの際や、蛍光ランプなどの交換の際は、必ず電源を切る。

*電源を切らないと感電の原因となります。



必ず守る

■器具のお手入れ



必ず守る

- 器具が虫やほこりなどで汚れたら、乾いた柔らかい布で軽くはたき落とす。汚れが落ちない場合は、柔らかい布に石けん水を浸して、よくしぼったのちふき取り、乾いた柔らかい布で仕上げる。
- *石けんとは天然油脂を原料としたものです。（商品表示が“石けん”であることを確認してください。）

■みがき粉・ベンジン・合成洗剤・化学ぞうきんでふいたり熱湯や殺虫剤をかけない。



禁止

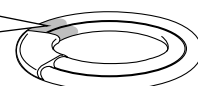
- *割れ、傷、変色および落下によるけがの原因となります。



■蛍光ランプの交換時期について

- ランプ寿命お知らせLEDが点灯しましたら、ランプの寿命が近づいています。（ただし、ランプ寿命お知らせ機能を正確に動作させている場合です。誤った使いかたをしていますとランプ寿命より早くLEDが点灯したり、ランプ寿命になってもLEDが点灯しないということになりますのでご注意ください。）

- また、口金付近が全周にわたって黒ずみ、明るさが低下したら寿命ですので、新しい蛍光ランプとお取り替えください。



- なお、調光で点灯した場合、比較的早い時期に黒い斑点が発生することがありますが、所定のランプ照度や寿命性能は満足しますので、そのままご使用ください。

日立パールミック
85形をお求めください。

■蛍光ランプ取り扱い上のご注意

- 点灯中および消灯直後は、ランプが熱くなっているので、触らない。



接触禁止

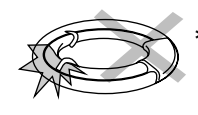


- *やけどの原因となります。

- ランプホルダーをランプに強く当てない。



禁止



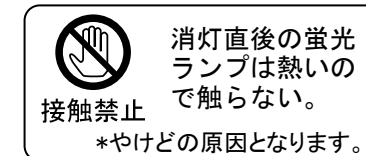
- *ランプが破損し、けがの原因となります。

カバーのはずしかたおよびランプの交換方法

- ①電源を切ってください。（壁スイッチをOFFにしてください。）

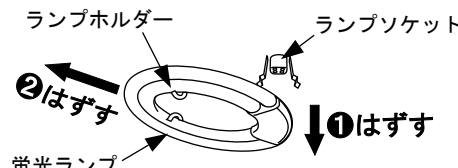
- ②カバーを押し上げながら、左にカチンと音がするまで回し、カバーを取りはずしてください。

- ③蛍光ランプをランプソケットからはずしたのち、ランプホルダーからはずしてください。



接触禁止

消灯直後の蛍光ランプは熱いので触らない。
*やけどの原因となります。

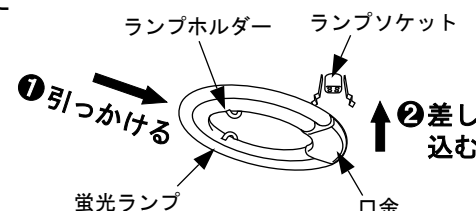
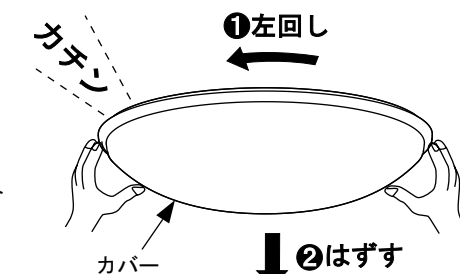


- ④交換用蛍光ランプをランプホルダーに引っかけ、口金をランプソケットに差し込んで取り付けてください。



必ず守る

- ランプソケットに合わせて確実に接続する。
- 口金がランプソケットに確実に差し込まれているか押して確認する。
- *接続が不完全な場合、火災の原因となります。



- ⑤リモコンまたは、壁スイッチで点滅操作をおこない点灯確認してください。

- *蛍光ランプが点灯している状態、または、蛍光ランプが切れて通電されている状態でランプ交換をした場合、交換した蛍光ランプは点灯しませんので必ず点滅操作をおこない点灯確認してください。

- ⑥ランプ寿命お知らせ機能を使用する場合は、リセットボタンを約3秒（電子音が2度鳴ります）押してください。

（累積点灯時間が0に戻り、累積点灯約15,000時間後に再び、LEDが点灯します。）

ランプ寿命お知らせ機能については、5ページ **ランプ寿命お知らせ機能について** を参照してください。

- ⑦カバーを取り付けてください。（3ページ、**3. カバーの取り付け** をご参照ください。）

器具の取り付けかた

- 1. アダプタの取り付け 電源を切ってください。（壁スイッチをOFFにしてください。）

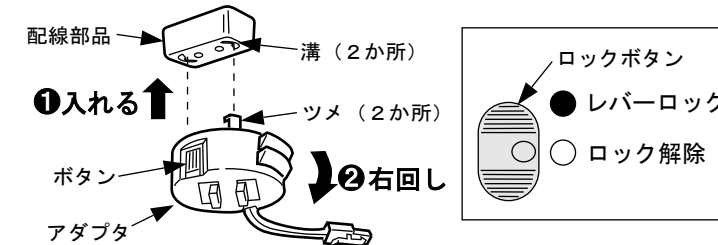
- ①配線部品（引掛シーリングボディなど）の溝にアダプタのツメを入れ、右方向にいっぱいまで回してください。（ロックが掛かり固定されます。）

- ②ロックボタンが「ロック解除」の位置になっていることを確認してください。



必ず守る

- 取り付け後、ボタンを押さずに左方向に回し、はずれないことを確認する。
- *取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因となります。



アダプタのはずしかた

ボタンを押しながら左方向へ回してください。

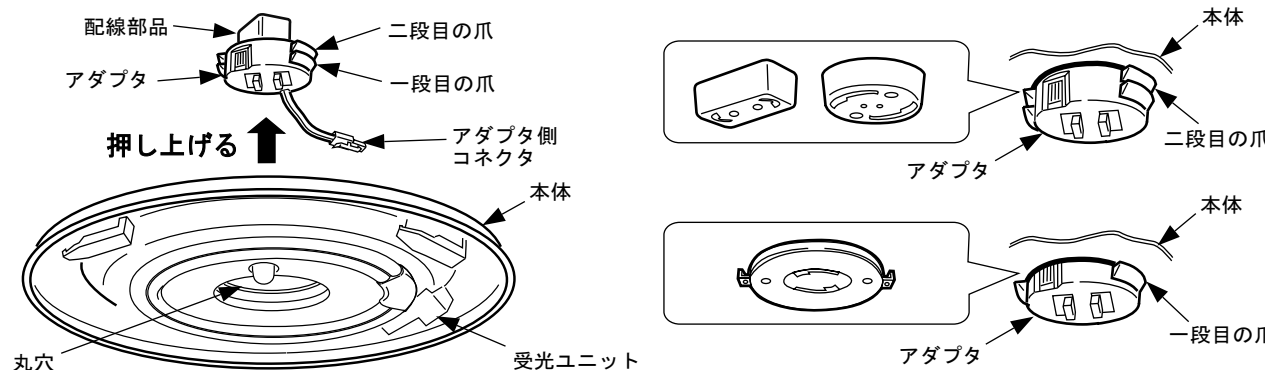
2. 本体の取り付け

- ①リモコンをひんぱんに操作する方向に受光ユニットが向くように本体を合わせ、アダプタ側コネクタを本体の丸穴に通し、丸穴をアダプタに合わせて本体を天井に強く押し上げてください。



必ず守る

- 天井に付いている配線部品により、本体に掛かる爪の位置が変わるので必ず下図を参照し、適切な爪（両側2ヶ所）が本体に掛かっていることを確認する。
- *取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因となります。



- ②アダプタのロックボタンを「レバーロック」の位置にしてください。



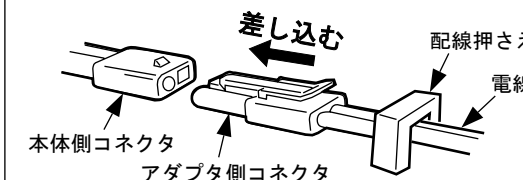
ずらす

ロックボタン

●レバーロック

○ロック解除

- ③アダプタ側コネクタと本体側コネクタを接続し、電線がたるんでいる場合は、電線を配線押さえに引っ掛けてください。

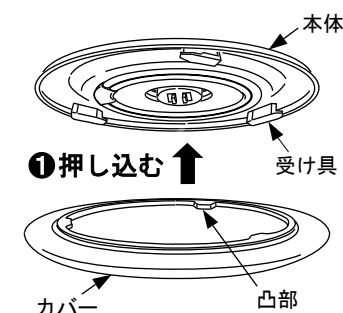


禁止

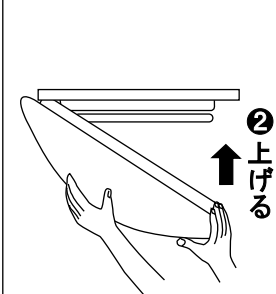
- コネクタや電線をむりやり引っばらない。
- *電線が断線し、感電、故障の原因となります。

3. カバーの取り付け

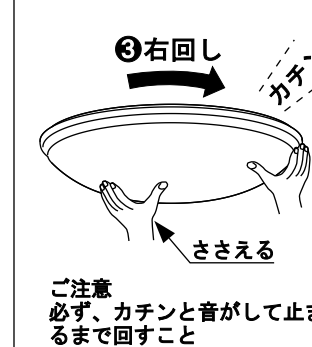
- ①カバー凸部を本体の受け具と受け具の間に合わせて、押し込んでください。



- ②反対側を押し上げてください。



- ③中央をささえながら右に回してください。



禁止

- カバーを正しく取り付け後は、カバーをむりやり回さない。
- *器具の破損、落下によるけがの原因となります。



必ず守る

- 取り付け後、カバーを軽く下にひっぱり確実に取り付けられているか確認する。
- *取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因となります。